

## 2020 年度事業報告

### 事業の概況

認定された公益目的事業を継続実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり当初計画の活動・普及人数等については未達となった。

当年度に行った事業の概況は次の通りである。

#### I 公益目的事業部門

##### 1. 糖類に関する正しい知識の普及・啓発のための事業及び食の安全を基本とした食育推進事業

###### (公益目的事業 1)

- (A) 業界最大手(株)ホームメイドクッキングの料理学校を媒体とした普及・啓発事業  
全国直営校 79 教室、指定校（自宅で料理教室開催）50 教室、親子料理教室 79 教室の合計延 265,410 名の受講者に対し、糖類の正しい知識を身につけた専任講師が、食文化講座及び親子向け食育講座等に於いて、全国展開により普及・啓発事業を実施した。

イ. 東日本直営校 39 教室 132,772 名（当初計画 192,600 名）

ロ. 西日本直営校 40 教室 125,154 名（当初計画 167,400 名）

ハ. 指定校 50 教室 6,750 名（当初計画 9,000 名）

ニ. 親子料理教室 79 教室 734 名（当初計画 1,380 名）

###### (B) 糖類セミナー事業

- (1) セミナー開催にあたっては各都市の地元ラジオ局と連携を取りながら、広く募集告知を行い開催した。セミナーでは講師（農学博士・医学博士）と参加者の間で質疑応答や意見交換を行い糖類に関する正しい知識の理解を促進した。

###### <開催概要>

イ.2020 年 10 月 15 日 富山市 後援 北日本放送株式会社

応募者 140 名 参加者 61 名 アンケート回答者 50 名

ロ.2020 年 11 月 24 日 横浜市 後援 株式会社ニッポン放送

応募者 610 名 参加者 202 名 アンケート回答者 70 名

ハ.2020 年 12 月 10 日 宮崎市 後援 株式会社宮崎放送

応募者 90 名 参加者 45 名 アンケート回答者 38 名

- (2) より広く、より深く糖類に関する知識の普及・啓発及び食育の啓蒙を図るため、株式会社ニッポン放送を通じてオリジナル番組を年間数十回放送し好評を得た。

- (C) 全日本小学生ドッジボール選手権大会（春の大会）協賛による普及・啓発事業  
未来ある子供達の心身の健全育成を目的とし、全日本小学生ドッジボール選手権、春の大会に協賛した。

主催：一般財団法人日本ドッジボール協会

後援：スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会

（予選会：都道府県数 42 参加チーム 475、参加人数 10,760 名）

（決勝戦：都道府県数 42 参加チーム 45、参加人数 826 名）

2. 糖類に関する調査研究活動に対する助成及び糖類に関する公益活動を行う団体への助成事業

（公益目的事業 2）

- （1）「肝臓で自律神経が糖を感受する仕組みの解明と糖代謝調節への意義」

金沢医科大学 医学部 准教授 谷田 守 氏

3. 糖類に関する情報の収集、整理、提供事業

（公益目的事業 3）

予定していたシンポジウム、学会はコロナ禍のため全て中止になった。

4. 学芸員等を含む専門委員会で選定した特定美術品の展示、公開及び官公庁等の美術館への貸出しにより、広く国民の文化の発展に寄与する事業

（公益目的事業 4）

- （1）北網圏北見文化センターへ特定美術品 61 点を無料で貸出展示

展覧会タイトル『近代洋画の挑戦 ー新しい表現を求めてー』を開催した。

[2021 年 1 月 16 日（土）～3 月 7 日（日）] 来館者数 1,160 名

- （2）その他予定していた下記への貸出はコロナ禍のため中止となった。

富山県水墨美術館、城西大学水田美術館

## II 収益事業部門

1. 会館及び施設の管理運営並びに賃貸を行う事業

（収益事業 1）

- （1） 会館の賃貸業務及びビル管理、維持の合理化により更なる経費圧縮に努めて、本事業の費用対効果を高め、これを財源とする公益事業の拡大に努めた。

- （2） コロナ禍等の影響で、賃料の値下げ対応を行った。この事により、新たな収益源の検討を開始した。

## III 管理部門

1. 講演会の企画・開催

会員等の連帯感、教養を高め、公益目的事業への更なる協力を促すため、また広く門戸を開き関係者の教養を高めるため、各業界の著名な講師による講演会を予定していたが、コロナ禍のため全て中止した。

2. 会報の発行

協会の公益目的事業や主催行事の趣旨徹底を図るため、会員をはじめ協会の関連団体

に向けて年3回（8月・12月・2月）発行した。

3. 情報機器による事務の合理化等により、適切な運営・管理を行うと共に、引き続き経費の削減に努めた。

## 協会運営に関する事項

### 1. 社員総会

2020年6月25日午前11時より、当協会会議場に於いて、第9回社員総会を開催（出席正会員260名/正会員総数367名）次の議案を付議した。

第1号議案 2019年度事業報告並びに2019年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録承認の件

報告事項 ①2020年度事業計画書並びに収支予算書（正味財産増減予算書）について説明があった。

②コロナ禍での会館運営については、会員が高齢であることから慎重に対応していくとの報告があった。

③会員からいただいたご意見とご提案について、「役員の立候補者紹介に関しては詳細に記載する」、「職員数は2016年16名から2020年8月においては12名体制で運営している。人件費は、対前年比で1千万円の削減を行った。」との報告があった。

### 2. 理事会

当年度中13回開催され、総会提出議案のほか、「公益社団法人」の事業運営に関する諸案件をはじめとする当協会の主要業務につき審議、決定した。

### 3. 専門委員会

#### (1) 会員委員会（委員長 矢田幸雄氏ほか6名）

当年度中2回開催され、会員の入会申込者の選考、会員の現状と課題について審議し理事会に答申した。

#### (2) 公益委員会（委員長 岩崎充利氏ほか8名（内2名社外特別委員））

当年度中2回開催され、公益事業関係予算、公益事業計画等を審議し理事会に答申した。

#### (3) 行事委員会（委員長 橋本仁氏ほか6名）

当年度中1回開催され、行事関係予算、協会行事の計画等を審議し理事会に答申した。

#### (4) 美術品委員会（委員長 相原英樹氏ほか7名（内2名社外特別委員））

当年度中1回開催され、美術品関係予算、特定美術品の展示、公開、国公立美術館への貸出等につき審議し理事会に答申した。

#### 4. 特別委員会

- (1) アドバイザリーコミッテイ特別委員会（委員：岩崎理事、大庭理事、橋本理事、  
矢田理事、社外特別委員1名）

当年度中に3回開催され、役員候補の選定の在り方について及び協会の財政状態における現状の課題の検討と今後の在り方等について審議し理事会に答申した。

- (2) ビル事業政策特別委員会（委員：相原理事、塚西理事、飯田理事、永井理事）  
当年度中に3回開催され、収支シミュレーションとケーススタディについて及び遊休資産の活用策等について審議し理事会に答申した。

- (3) 3委員長会議（総合企画委員長：塚西理事、行事委員長：橋本理事、会員委員長：  
矢田理事）

コロナ禍における会員活動の在り方及び家賃収入大幅減収での会員活動について、次年度会員会費の不徴収等について審議し、理事会に答申した。

#### 5. 登記及び監督官庁への届出事項等

- (1) 2020年6月29日、2019年度の事業報告等に係る提出書類を内閣総理大臣宛提出した。

- (2) 2021年3月29日、2021年度の事業計画書等に係る提出書類を内閣総理大臣宛提出した。

#### 6. 会員入退会者数（2020年4月1日～2021年3月31日）

入会	法人正会員	0社
	個人正会員	13名
	個人賛助会員	1名
退会	個人正会員	24名（内死亡8名）
	個人賛助会員	4名（内死亡1名）

#### 7. 会員数（2021年3月31日現在）

法人正会員	17社（前年3月末17社）
個人正会員	340名（前年3月末351名）
個人賛助会員	39名（前年3月末42名）
会員総数	396名（前年3月末410名）

以上